

パブリックコメント 意見と対応			
#	場所	コメント	対応
1	全体について	これが「地域医療連携における情報連携基盤技術仕様」の一部であるのか、ないのか明記してください。 これにより、HELICS協議会での審議のやり方がこととなると予想される。 「地域医療連携における情報連携基盤技術仕様」の一部であるなら、審議は迅速に進むと予想される。そうでないなら、新規提案として処理される可能性がある。 私見としては、原著ではITIの一部なのだから、当然、「地域医療連携における情報連携基盤技術仕様」の一部でないとおかしい	地域連携とは直接関係しないプロファイルですので、別の技術仕様として取りまとめました。
2	全体について	RFDの訳を「データ入力用書式取得・提出」としたのだから、RFDのformに該当するformはすべて、「書式」と統一的に訳さないと	「書式」に統一しました
3	全体について	RFDの使用例について以下を加筆する。 感染症報告、薬剤副作用報告：厚労省が喜ぶので絶対入れるべき学会が作成する国民的規模のデータベースへの登録	英文TFの日本語訳を掲載していますので、新たなユースケースはHELICSレポートに記載する予定です。
4	97行目	全国調査や全国登録など→感染症や薬剤副作用の報告、学会が作成する国民的規模のデータベースへの登録など	修正しました。
5	99行目	末尾に右記を追加：考え得る使用例については本書の付録A 17.1を参照する。	追記しました。
6	148行目	インスタンスデータ→提出用データ	「フォームインスタンスデータ」以外の部分については、提出用データに置き換えました。
7	149行目	RFD は以前に取得したデータ→RFD は以前に提出したデータを修正する	修正いたしました
8	154行目	EHRのユーザによる追加入力されるデータ → EHRのユーザにより入力されるデータ	修正すると意味が変わってしまうので、このままとしました。
9	156行目	フォーム(2個ある)→書式	修正しました。
10	160-163行目	(固定)フォーム... フォームである 訂正案↓ ホストアプリケーションのデータベースからの値で書式を埋めることが望まれている。すなわち、書式の記入欄に、ホストアプリケーションのデータベースから選んだ適切な値を入れた状態の書式を提供させることである。	修正しました。
11	201行目	フォーム(3個ある)→書式	修正しました。
12	202行目	インスタンスデータ→提出用データ	修正しました。
13	203行目	RFD は以前に取得したデータ→RFD は以前に提出したデータを修正する	修正しました。
14	206行目	プロバイダの担当者→医療機関の担当者	修正しました。
15	207-208行目	いくつかの契約、、、要求する 訂正案↓ いくつかの契約上の取り決めを介して外部機関が医療機関にデータを要求すると仮定すると、このようなデータの一部はEHRのデータベース内にあり、他はEHR使用者による入力を必要とする。	一部修正しました。
16	210行目	フォーム(2個ある)→書式	修正しました。
17	211行目	取得したデータ→提出されたデータ 注:「取得」は正しい訳だが読者の理解しやすさを考慮して「提出」と意	修正しました。
18	212行目	メカニズムの提供を外部機関に行うことを可能である。 → メカニズムを外部機関に提供する。	修正しました。
19	214-216行目	(固定)フォーム... フォームである 訂正案↓ ホストアプリケーションのデータベースからの値で書式を埋めることが望まれている。すなわち、書式の記入欄に、ホストアプリケーションのデータベースから選んだ適切な値を入れた状態の書式を提供させる	修正しました。
20	217行目	フォームの集団を許可し、 → 書式への値記入を可能とし、	一部修正しました。
21	218-219行目	標準的な語彙上の使用されない残在、、、述べることはない。 訂正案↓ 標準的な語彙や、その他の意味的相互運用性を可能とする手段については、述べない。 注: enablerはenableの名詞化でenableにするものを意味すると解釈できる。	修正しました。
22	230-231行目	プロファイルは、、、意図している 訂正案↓ プロファイルは、表示アプリケーションが行うべき業務を最小にすること、および、データ提出用紙を完成させるに必要な指示が付随した、完全に機能する書式を持つてくること、を意図している。	修正しました。
23	232行目	フォーム → 書式	修正しました。
24	234-235行目	RFDは、構造と、、、提供している 訂正案↓ RFDは、データ取得に使用される書式の構造と内容の両者を処理する業界標準を利用する能力を提供している。	一部修正しました。
25	253行目	医師を推奨している → 医師に推奨している	修正しました。
26	262行目	RFP → 提案要求(RFP)	修正しました。

27	263行目	スポンサーに返信する要求された書類を提供する → スポンサーに要求された書類を返信する	修正しました。
28	266行目	プロトコルのための場所のセキュリティに関する適切なシステム化 訂正案↓ プロトコルのために、適切なセキュリティシステムを整備し 注: put in placeは成句で通常「整備する」と訳す。	修正しました。
29	293行目	既製の → 棚から	修正しました。
30	306行目	の期間の → しばらくの間	修正しました。
31	343行目	DOH → DOHIに	—
32	434行目	PCI最中に → PCI最中は	修正しました。
33	468行目	NORPは登録施設に限定されること → NOPRの利用は登録施設に限定されること	修正しました。
34	17.1.2.1.1 17.1.2.1.2	「試料を検査室に送った。」とあります。 “specimen”を“試料”と訳されていると思います。 (HL7日本語版もそのようになっています) 先日制定された、「JAHIS臨床検査データ交換規約 Ver.4.0C」 では、“検体”と表記するようにしています。	修正しました。
35	6章	6章の説明の文章と、図6.1-1のアクタ図のそれぞれのアクタ・トランザクションとの関係がほとんど理解できません。せめて、アクタとトランザクションの概要の説明が欲しい。	説明を追記しました。
36	3章、4章	3/4章で用語や略語の定義があるけど、本文中で使われていない用語の定義があっても意味が無い。	付録に出現する用語についても定義してあります。